

虹の架け橋

和歌山からブラジルへの移住者たち



和歌山大学紀州経済史文化史研究所 移動パネル展第3期

2012
8.22(水) ~ 9.2(日)

会場:

和歌山県御坊市・紀州鉄道車内

車両運行上の都合により、展示車両が運行されない場合がございます。
キテツ1号運行時のみの展示となります。

主催：和歌山大学紀州経済史文化史研究所

後援：(公財) 和歌山県国際交流協会 / 和歌山県中南米交流協会
アメリカ村カナダ移民資料館

1908年日本からブラジルへの集団移住が始まり、2008年日伯交流は100周年を迎えた。また1953年、和歌山県から戦後移民の第一陣として22家族112人がマツグロソ州・松原移住地に渡り、翌1954年に発足したブラジル和歌山県人会は、2009年に55周年を祝った。この日伯交流の歴史を振り返り、和歌山とブラジルの間に「虹の架け橋」を築いてきた移住者たちの生活の様子や精神を感じていただければと願う。

【問合せ先】

紀州経済史文化史研究所

tel:073-457-7891

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/>

<mailto:kishuken@center.wakayama-u.ac.jp>

今後の予定
移動パネル展「移民船に想いを馳せて」
■第4期 2012.9.13(木)～25(火)
トーク「移住者の船上生活」2012.9.21(金) 19:00～
会場：(公財)和歌山県国際交流協会(ビッグ愛9F)
■第5期 2012.9.29(土)～30(日)
会場：南紀熊野サテライト(Big-U内)